

香川大学 C0C 事業評価実施要領

平成 27 年 8 月 3 日

地 域 連 携 戦 略 室

1. 趣旨

この要領は、香川大学が推進する文部科学省「地（知）の拠点整備事業」（以下「C0C 事業」という。）の事業評価を適切に行うため、評価の実施に関し必要な事項を定めるものである。

2. 評価の目的

C0C 事業の各年度の進捗状況の検証を行い、事業を見直し、改善を促すことによって事業のさらなる質の向上と事業運営の効率化および透明性の確保に資することを目的とする。

3. 評価の基本方針

事業評価は、次の基本方針により行うものとする。

- （１） 事業評価は５年間の事業実施計画の達成に向けた事業の進捗状況および事業実施による成果を確認する観点から行う。
- （２） 事業評価は、香川大学地域連携戦略室の自己点検に基づくものとする。

4. 評価の実施方法

事業評価は、地域連携戦略室の自己点検書に基づき作成する事業評価報告書により実施する。

5. 地域連携戦略室による自己点検

地域連携戦略室は以下の事項に留意し、年度計画における実施計画ごとに、業務の推進状況等について自己点検書に記載する。

- ① できる限り客観的な情報データを用いて具体的に記載するように留意する。
- ② 特筆すべき事項等があれば記載する。

6. 内部評価委員会による評価

- （１） 地域連携戦略室による自己点検結果の検証

内部評価委員会は、地域連携戦略室から報告を受けた事業自己点検書および必要に応じて求める追加資料の提出を受け、事業の実績等を確認のうえ、地域連携戦略室の自己点検結果を検証する。

(2) 全体評価

内部評価委員会は年度計画のプロジェクト別の評価踏まえ、事業全体における目標の達成状況、進捗状況を総合的に評価する。

7. 外部評価委員会による評価

(1) 内部評価委員会による内部評価の検証

外部評価委員会は、内部評価委員会から報告を受けた事業報告書および必要に応じて求める追加資料の提出を受け、事業の実績等を確認のうえ、内部評価委員会の事業評価を検証する。

(2) 全体評価

外部評価委員会は年度計画のプロジェクト別の評価踏まえ、事業全体における目標の達成状況、進捗状況を総合的に評価する。また、改善すべき事項がある場合は、付記する。

8. 評価結果の公表

事業評価結果については、大学ホームページに掲載することにより公表する。

9. その他

この要領については、事業評価の実施結果を踏まえ、必要に応じ、地域連携戦略室長の決裁を経て、見直すことができることとする。